

目次

(88) 製品関連記事

- ▽「マツダ、助手席回転で乗り降り簡単」
- ▽『『ウォッチ』で補聴器操作／ジーエヌリサウンド』

(89) 新刊紹介

- ▽『エンジニアのための人を対象とする研究計画入門
科学的合理性と倫理的妥当性』
- ▽『障害者総合支援法事業者ハンドブック 2015年版報酬編
報酬告示と留意事項通知』
- ▽『発達障害のわたしのこころの声
生活・仕事で困っている理由&困らない工夫』
- ▽『鉄太就職物語
知的障害・発達障害の人たちのためのマンガ版ビジネスマナー集』

(88) 製品関連記事

▼「マツダ、助手席回転で乗り降り簡単」

マツダは3日、主力小型車「デミオ」で、助手席がドア側に向かって回転するタイプを発売した。座席に備えているレバーを操作すると、外側に向かって55度回転する仕組みだ。

自動的にドア側に足がむくため、体が不自由な人や高齢者の乗り降りが簡単になる。和服やスカートなどを着ている場合にも裾を乱さずに乗り降りしやすくなる。ガソリン車、ディーゼル車の両方で回転タイプを用意した。

(日経産業新聞 9月4日12面より抜粋)

▼『『ウォッチ』で補聴器操作／ジーエヌリサウンド』

デンマーク・コペンハーゲンに本拠を置く補聴器メーカーのジーエヌリサウンドは同国のデザイン企業、デザインイットと共同で、ウェアラブル端末「アップルウォッチ」向けに同社製の補聴器と連携して使う専用アプリ（応用ソフト）「リサウンド・スマート」を開発した。聴力障害を患っている人、聴力低下に悩んでいる人が補聴器を快適に使用できるようになる。

アップルウォッチの操作で人目につかずに補聴器の設定を調節できる。従来の補聴器につきものだった設定変更のしにくさや、補聴器をいじること自体のばつの悪さなどを減らした。アプリはアップルストアからダウンロード可能だ。

（日経産業新聞 9月4日15面より抜粋）

（89）新刊紹介

▼『エンジニアのための人を対象とする研究計画入門 科学的合理性と倫理的妥当性』

エンジニアが科学的な被験者実験を計画するのを助け、倫理審査で問題となる研究倫理の原理と規則とを理解する助けとなることを目的としてまとめた入門書。2014年末に公表された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」にも配慮しています。付録に倫理審査申請書例、研究計画書例付き。

著：山内繁（やまうち・しげる）

発行：丸善出版

本体価格：3800円（税別）

ISBN：978-4-621-08960-6

▼『障害者総合支援法事業者ハンドブック 2015年版報酬編 報酬告示と留意事項通知』

指定障害福祉サービス、指定通所支援、指定入所支援、指定相談支援の報酬に係る算定基準について、報酬告示、関係告示、留意事項通知を対応させて3段対照形式で見やすく掲載。内容は平成27年7月1日現在。

発行：中央法規出版

本体価格：4000円（税別）

ISBN：978-4-8058-5225-5

▼ 『発達障害のわたしのこころの声』

生活・仕事で困っている理由&困らない工夫』

40代で発達障害と診断された著者が、社会生活を送るうえで感じてきた困惑。彼女が普段の生活でどのように「普通の人」の社会と折り合おうとしているのかを自ら語る。

著：星野あゆみ（ほしの・あゆみ）

監修：本田秀夫（ほんだ・ひでお）

発行：学研教育出版

本体価格：1600円（税別）

ISBN：978-4-05-406186-6

▼ 『鉄太就職物語』

知的障害・発達障害の人たちのためのマンガ版ビジネスマナー集』

2008刊「知的障害や自閉症の人たちのための見てわかるビジネスマナー集」をもとに制作したマンガ版。知的障害・発達障害の人たちがつまずきやすいビジネスマナーを、楽しいオリジナルストーリーを通して解説する。

作・画：中尾佑次（なかお・ゆうじ）

企画・執筆：青山均（あおやま・ひとし）ほか

発行：ジアース教育新社

本体価格：1500円（税別）

ISBN：978-4-86371-319-2

（編集後記）

ISO（国際標準化機構）に国際規格として提案している「公共空間の音案内」（最終的な規格名は「アクセシブルデザインー公共施設における聴覚的誘導信号」と「トイレ操作部の配置」（最終的な規格名は「アクセシブルデザインー公共トイレの壁面の洗浄ボタン、呼出しボタンの形状及び色並びに紙巻器を含めた配置」）のDIS投票（国際規格案投票）が承認され、FDIS投票（最終国際規格案投票）を省略して、直接国際規格発行に向かうためのCIB投票（委員会投票）が開始されたことは、7月末にお伝えしました。

この二つの投票が終了し、それぞれ承認されました。ただし今回は二つの規格ともに、DIS投票の際の規格案から若干変更される部分がありますので、

そのまますぐ国際規格の発行に進むのではなく、再度改訂規格案を ISO 事務局に提出することになりました。

しかし、その処理にはそれ程時間がかかるとは思われませんので、2, 3 か月後には国際規格として発行される予定です。(松岡 光一)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>